

## 第 3 3 回

# 全国国公立大学病院集中治療部協議会

平成 3 0 年 2 月 9 日（金）

滋賀医科大学医学部附属病院

# 第 33 回全国国公立大学病院集中治療部協議会

## 目 次

1. 会 議 次 第	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 出 席 者 名 簿	・ ・ ・ ・ ・	3
3. 座 席 表	・ ・ ・ ・ ・	6
4. 文 科 省 講 演	・ ・ ・ ・ ・	7
5. 特定行為研修の現状と課題について	・ ・ ・ ・ ・	8
6. 集中治療専門医制度について	・ ・ ・ ・ ・	9
集中治療専門医制度へ向けて ー集中治療室の診療体制の現状と課題ー		
7. 報 告 事 項	・ ・ ・ ・ ・	11
8. 協 議 事 項	・ ・ ・ ・ ・	12
9. 開催大学一覧	・ ・ ・ ・ ・	15
10. 国公立大学病院集中治療部協議会規約	・ ・ ・ ・	16

## 第33回国公立大学病院集中治療部協議会

### 会 議 次 第

#### 1 日 時

平成30年2月9日(金) 13:30 ~ 17:00

#### 2 会 場

琵琶湖ホテル 3階「瑠璃」

(〒520-0041 滋賀県大津市浜町2-40 ☎ 077-524-7111(代))

#### 3 日 程

13:00 ~13:30 受 付

13:30 ————— 開 会 —————

13:30 ~13:40 当番大学挨拶 滋賀医科大学医学部附属病院長 松末 吉隆

13:40 ~14:20 文部科学省講演「大学病院を取り巻く諸課題について」  
医学教育課大学病院支援室病院第一係長 西尾 和幸 氏

14:20 ~14:30 看護師長会議報告

14:30 ~15:05 「特定行為研修の現状と課題について」

1) 特定行為研修の概要

滋賀医科大学医学部附属病院 看護師長 中井 智子 氏

2) 特定行為研修生への教育について

鹿児島大学病院 看護師特定行為研修センター

主任 福元 幸志 氏

3) 特定行為研修を終えて

奈良県立医科大学附属病院 看護主任 小川 哲平 氏

4) 特定看護師としての活動について

滋賀医科大学医学部附属病院 副看護師長 吉田 和寛 氏

15:05 ~15:20 ————— 休 憩 —————

15:20 ~16:30 「集中治療専門医制度について」

山梨大学医学部附属病院 集中治療部長 松田 兼一 先生

「集中治療専門医制度へ向けて

—集中治療室の診療体制の現状と課題—」

1) 社会保険制度の観点から

浜松医科大学医学部附属病院

集中治療部長 土井 松幸 先生

2) 本学における現状と課題

滋賀医科大学医学部附属病院

救急・集中治療部副部長 辻田 晴之 先生

3) 本学における現状と課題

大阪大学医学部附属病院

集中治療部副部長 内山 昭則 先生

4) PICU 運営/管理の観点から

広島大学病院 集中治療部長 志馬 伸朗 先生

16:30 ~17:00

報告事項

・人工呼吸器関連事象・感染管理等について

名古屋大学医学部附属病院

救急・内科系集中治療部長 松田 直之 先生

協議事項

・年会費について

・当番大学の選出方法について

・全国国立大学病院臨床工学技士協議会の陪席について

その他

・当番大学（第35回）の選出について

17:00

———— 閉 会 ————

**第33回全国国公立大学病院集中治療部協議会  
出席者名簿**

大 学 名	職 名	氏名(敬称略)
北海道大学病院	先進急性期医療センター部長	丸藤 哲
	ICU・救急部 看護師長	岩本 満美
旭川医科大学病院	集中治療部 部長	小北 直宏
	集中治療部ナース・ステーション 看護師長	清水 由美子
弘前大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	橋場 英二
	集中治療部 看護師長	赤牛 留美子
東北大学病院	集中治療部 副部長	齋藤 浩二
	集中治療部 看護師長(ICU1)	須東 光江
	集中治療部 看護師長(ICU2)	坂本 千尋
	集中治療部 看護師長(ICU3)	庄子 由美
秋田大学医学部附属病院	集中治療部 部長	中永 士師明
	集中治療部 看護師長(ICU1)	竹園 陽子
山形大学医学部附属病院	高度集中治療センター 副センター長	中根 正樹
	高度集中治療センター 看護師長	布川 真記
筑波大学附属病院	救急・集中治療部 部長	井上 貴昭
	ICU 看護師長	飯田 育子
	ICU 主任副看護師長	松田 武賢
群馬大学医学部附属病院	集中治療部 部長	齋藤 繁
	集中治療部 副部長	日野原 宏
	集中治療部 看護師長	佐藤 綾子
千葉大学医学部附属病院	救急部・集中治療部 部長	織田 成人
	救急部・集中治療部 看護師長	竹内 純子
東京大学医学部附属病院	救急部集中治療部 副部長	土井 研人
	ICU1 看護師長	荒木 知美
	ICU2 看護師長	鳩宿 あゆみ
東京医科歯科大学医学部附属病院	集中治療部 教授	高橋 英夫
	集中治療部 看護師長	高橋 洋子
新潟大学医歯学総合病院	集中治療部 副部長	本田 博之
	集中治療部 ICU看護師長	五十嵐 実花子
富山大学附属病院	集中治療部 部長	奥寺 敬
	集中治療部 副部長	澁谷 伸子
	集中治療部 看護師長	木本 久子
金沢大学附属病院	集中治療部 部長	谷口 巧
	集中治療部 副部長	岡島 正樹
	集中治療部 看護師長	辻 千芽
福井大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	藤林 哲男
	集中治療部 看護師長	栗原 勇治
山梨大学医学部附属病院	集中治療部 部長	松田 兼一
	集中治療部 看護師長	岡村 真由美
信州大学医学部附属病院	集中治療部 部長	今村 浩
	集中治療部 副部長	三田 篤義
	集中治療部 看護師長	高尾 ゆきえ
岐阜大学医学部附属病院	高次救命治療センター 副センター長	吉田 省造
	高次救命治療センター 集中治療部門長	土井 智章
	高次救急治療センター 看護師長	宮部 美香子
浜松医科大学医学部附属病院	集中治療部 部長	土井 松幸
	集中治療部 副部長	御室 総一郎
	集中治療部 副部長	小幡 由佳子
	集中治療部 看護師長	目秦 文子

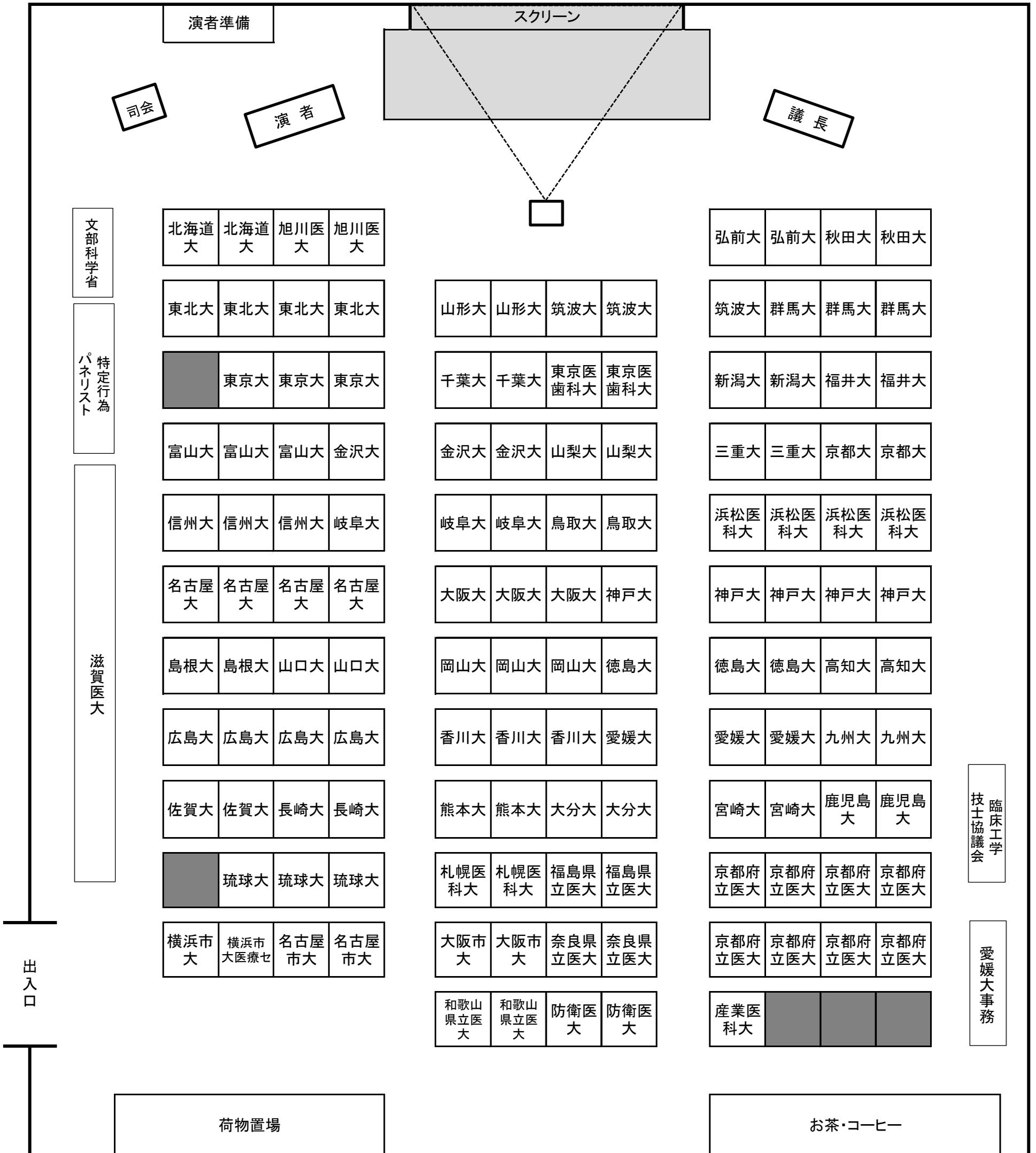
**第33回全国国公立大学病院集中治療部協議会  
出席者名簿**

大 学 名	職 名	氏名(敬称略)
名古屋大学医学部附属病院	救急・内科系集中治療部 部長	松田 直之
	外科系集中治療部 部長	足立 裕史
	外科系集中治療部 副部長	鈴木 章悟
	集中治療部 看護師長(EMICU)	小楠 香織
三重大学医学部附属病院	救命救急・総合集中治療センター長	今井 寛
	救命集中治療センター・集中治療部 看護師長	林 智世
京都大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	瀬川 一
	救急部・集中治療部 看護師長	足立 由紀
大阪大学医学部附属病院	集中治療部 部長	藤野 裕士
	集中治療部 副部長	内山 昭則
	集中治療部 看護師長(東4)	植園 法子
神戸大学医学部附属病院	救急・集中治療センター長	溝渕 知司
	救急・集中治療センター副センター長	三住 拓誉
	救急・集中治療センター副センター長	呉本 絢子
	集中治療部 講師	江木 盛時
	集中治療部 看護師長	田仲 みどり
鳥取大学医学部附属病院	高次集中治療部 部長	南 ゆかり
	高次集中治療部 看護師長	渡邊 仁美
島根大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	二階 哲郎
	集中治療部 看護師長	金築 きよ美
岡山大学病院	集中治療部 部長	森松 博史
	集中治療部(看護) 看護師長	服部 芳枝
	集中治療部(東3) 看護師長	岩谷 美貴子
広島大学病院	集中治療部 部長	志馬 伸朗
	麻酔科 助教	加藤 貴大
	集中治療部 看護師長	佐々邊 やよい
	外科系集中治療部 看護師長	林 裕子
山口大学医学部附属病院	集中治療部 部長	松本 美志也
	集中治療部 看護師長	大田 弘子
徳島大学病院	救急集中治療部 部長	西村 匡司
	救急集中治療部 副部長	大藤 純
	救急集中治療部 看護師長	中山 志津
香川大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	浅賀 健彦
	救命救急センター センター長	黒田 泰弘
	集中治療部 看護師長	橋田 由吏
愛媛大学医学部附属病院	集中治療部 部長	土手 健太郎
	集中治療部 看護師長	新居 由香
	集中治療部 看護師長	竹森 香織
高知大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	矢田部 智昭
	集中治療部 看護師長	大坪 佳代
九州大学病院	集中治療部 副部長	徳田 賢太郎
	集中治療部 看護師長	松本 由香
佐賀大学医学部附属病院	集中治療部 部長	坂口 嘉郎
	集中治療部 看護師長	田竈 康洋
長崎大学病院	集中治療部 副部長	関野 元裕
	集中治療部 看護師長	赤星 衣美
熊本大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	蒲原 英伸
	集中治療部 看護師長	塘田 貴代美

**第33回全国国公立大学病院集中治療部協議会  
出席者名簿**

大 学 名	職 名	氏名(敬称略)
大分大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	後藤 孝治
	集中治療部 看護師長	藤松 みずほ
宮崎大学医学部附属病院	集中治療部 副部長	谷口 正彦
	集中治療部 看護師長	海江田 ちえみ
鹿児島大学病院	集中治療部 特任助教	二木 貴弘
	集中治療部 看護師長	川畑 美賀
琉球大学医学部附属病院	集中治療部 部長	垣花 学
	集中治療部 副部長	渕上 竜也
	集中治療部 看護師長	山川 知美
札幌医科大学附属病院	集中治療部 部長	升田 好樹
	集中治療部 看護師長	伊藤 えり子
福島県立医科大学附属病院	集中治療部 副部長	箱崎 貴大
	集中治療部 看護師長	渡部 ますい
横浜市立大学附属病院	集中治療部 部長代理	高木 俊介
横浜市立大学附属病院市民総合医療センター	集中治療部 部長	大塚 将秀
名古屋市立大学病院	集中治療部 部長	祖父江 和哉
	ICUCCU 主任	丸谷 幸子
京都府立医科大学附属病院	集中治療部 部長	橋本 悟
	集中治療部 副部長	木村 彰夫
	集中治療部 PICU 助教	田畑 雄一
	ICU 看護師長	高垣 忍
	PICU 看護師長	堀井 匡子
	ICU 副看護師長	竹中 千恵
	PICU 副看護師長	辻尾 有利子
大阪市立大学医学部附属病院	集中治療部 部長	長谷川 佳子
	集中治療部 看護師長	溝端 康光
奈良県立医科大学附属病院	集中治療部 副部長(准教授)	瀬脇 純子
	集中治療部 看護師長	井上 聡己
和歌山県立医科大学附属病院	救急・集中治療部 助教	稲田 充代
	救急・集中治療部 看護師長	宮本 恭兵
産業医科大学病院	救急・集中治療部 看護師長	内芝 秀樹
防衛医科大学校病院	集中治療部 部長	萩原 由美
	集中治療部 看護師長	高瀬 凡平
		細井 聖也
文部科学省	医学教育課大学病院支援室病院第一係長	西尾 和幸
臨床工学技士協議会	会長(旭川医科大学)	宗万 孝次
	幹事(滋賀医科大学)	吉田 均
滋賀医科大学医学部附属病院	救急・集中治療部 部長・教授	江口 豊
	救急・集中治療部 副部長	辻田 靖之
	救急・集中治療部 副部長	高橋 完
	救急・集中治療部 看護師長	小越 優子
	救急・集中治療部 副看護師長	武部 裕美
	救急・集中治療部 副看護師長	石川 真

# 第33回国公立大学病院集中治療部協議会 座席表



第33回国公立大学病院集中治療部協議会  
文部科学省講演

「大学病院を取り巻く諸課題について」

○ 文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室病院第一係長 西尾 和幸 氏

## 講演・ディスカッション

「特定行為研修の現状と課題について」

- 1) 特定行為研修の概要  
滋賀医科大学医学部附属病院 看護師長 中井 智子 氏
  
- 2) 特定行為研修生への教育について  
鹿児島大学病院 看護師特定行為研修センター 主任 福元 幸志 氏
  
- 3) 特定行為研修を終えて  
奈良県立医科大学附属病院 看護主任 小川 哲平 氏
  
- 4) 特定看護師としての活動について  
滋賀医科大学医学部附属病院 副看護師長 吉田 和寛 氏

「集中治療専門医制度について」

- 山梨大学医学部附属病院 集中治療部長 松田 兼一 先生

「集中治療専門医制度へ向けて－集中治療室の診療体制の現状と課題－」

- 1) 社会保険制度の観点から  
浜松医科大学医学部附属病院 集中治療部長 土井 松幸 先生
  
- 2) 本学における現状と課題  
滋賀医科大学医学部附属病院 救急・集中治療部副部長 辻田 晴之 先生
  
- 3) 本学における現状と課題  
大阪大学医学部附属病院 集中治療部副部長 内山 昭則 先生
  
- 4) PICU 運営/管理の観点から  
広島大学病院 集中治療部長 志馬 伸朗 先生

第33回国立大学病院集中治療部協議会報告事項

提案大学名 名古屋大学

(議 題)

人工呼吸器関連事象・感染管理等について

(提案理由)

第29回国立大学病院集中治療部協議会（秋田大学）より、人工呼吸器関連肺炎を人工呼吸器関連事象として捉え、この発症の評価を目的として、人工呼吸器関連事象・感染管理委員会が立ち上がっています。本内容におけるフォロー内容をご報告します。

第33回全国国公立大学病院集中治療部協議会協議事項

提案大学名 京都府立医科大学

(議 題)

年会費について

(提案理由)

一昨年から年会費2万円を徴収しており、その結果協議会の名簿管理システム、ホームページの構築を行った。(実際には過去の議事録の作成など徳島大学で負担していただいた分も相当ある)

今後もこの年会費を有効に使うアイデアを各校から出していただきたい。

入金状況として一昨年は任意ということもあり7割の施設から入金があった。(11/1 現在) 2017年度も入金を御願っているが、協議会時点で事務局から徴収状況を報告される予定である。

今後の事務局の運営なども含めて協議いただければ幸いである。

第33回全国国公立大学病院集中治療部協議会協議事項

提案大学名 京都府立医科大学

(議 題)

当番校の選出について

(提案理由)

これまで下記規約第5条に従って当番校を選出していたが、協議会で最終的に承認されるとしても、事前の調整が必要である。今後はもう少し具体的な選出方法を決めた方が良いのではないか。規模が拡大する中で会場の確保などの問題もあり早めの対応が好ましい。

下記規約の抜粋

(当番大学)

第5条 当番大学は、毎年度持ち回り制とし、次々期の当番大学は、協議会において互選により決定する。当番大学は細則第2条に従って協議会を運営する。

第 33 回全国国公立大学病院集中治療部協議会協議事項

提案大学名 滋賀医科大学

(議 題)

全国国立大学病院臨床工学技士協議会の陪席について

(提案理由)

平成 30 年 2 月吉日

第 33 回全国国公立大学病院集中治療部協議会当番校  
滋賀医科大学病院 救急・集中治療部  
部長 江口 豊 先生 御机下

全国国立大学法人病院臨床工学技士協議会  
会長 旭川医科大学病院 宗万 孝次

要望書

謹啓 この度は第 33 回全国国公立大学病院集中治療部協議会にオブザーバーとして参加させていただくことを了承していただき、感謝いたします。

全国国立大学法人病院臨床工学技士協議会は、臨床工学技士の大学病院間の情報を交換し、医療の安全、病院経営、医療の普及発展に寄与することを目的として活動しております。臨床工学技士は集中治療に深く関わっておりますが、未だ国立大学法人病院ですら集中治療部での臨床工学技士の関わりは大きな差があることを把握しております。しかし、特定集中治療管理料の要件の中にも「専任臨床工学技士の配置」が加わり、ますます関わりが深くなることを予想しております。特に地域の中核病院でもあります大学病院の集中治療部の役割は非常に重要で、我々臨床工学技士が様々な点で業務していくべき部門と考えております。

当協議会としても臨床工学技士が集中治療部での業務をはじめ様々な業務へのチーム医療の一員としてさらに深く加わっていくことを推進しており、各団体と情報を共有していく必要があると考えております。現在、全国国立大学病院手術部会議、全国国立大学医学部附属病院血液浄化部門連絡協議会にもオブザーバーとして毎年会議に参加させていただき、情報共有をしております。是非全国国公立大学病院附属集中治療部協議会にもオブザーバーとして参加させていただき、情報共有させていただきたくお願いいたします。

謹白

全国国公立大学病院集中治療部協議会

開催大学一覧

開催回	開催年	開催大学	開催回	開催年	開催大学
1	1986(昭和61)年	東京大学	21	2006(平成18)年	浜松医科大学
2	1987(昭和62)年	東京大学	22	2007(平成19)年	東京大学
3	1988(昭和63)年	東京大学	23	2008(平成20)年	金沢大学
4	1989(平成元年)	東京大学	24	2009(平成21)年	熊本大学
5	1990(平成2)年	東京医科歯科大学	25	2010(平成22)年	大阪大学
6	1991(平成3)年	東京医科歯科大学	26	2011(平成23)年	筑波大学
7	1992(平成4)年	東京医科歯科大学	27	2012(平成24)年	信州大学
8	1993(平成5)年	東京医科歯科大学	28	2013(平成25)年	徳島大学
9	1994(平成6)年	東京医科歯科大学	29	2014(平成26)年	秋田大学
10	1995(平成7)年	東京医科歯科大学	30	2015(平成27)年	京都府立医科大学
11	1996(平成8)年	名古屋大学	31	2016(平成28)年	北海道大学
12	1997(平成9)年	大阪大学	32	2017(平成29)年	山梨大学
13	1998(平成10)年	千葉大学	33	2018(平成30)年	滋賀医科大学
14	1999(平成11)年	広島大学	34	2019(平成31)年	愛媛大学
15	2000(平成12)年	東北大学	35	2020(平成32)年	
16	2001(平成13)年	佐賀医科大学			
17	2002(平成14)年	神戸大学			
18	2003(平成15)年	愛媛大学			
19	2004(平成16)年	岡山大学			
20	2005(平成17)年	宮崎大学			

# 国公立大学病院集中治療部協議会規約

## 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、国公立大学病院集中治療部協議会(以下「協議会」という。)と称する。

(目的)

第2条 協議会は、会員相互の緊密なる連絡と協力によって、集中治療部の円滑な運営と入室患者の治療成績の向上を図ることを目的とする。

2 協議会は、前項の目的を達成するため、次の事項を審議する。

- (1) 集中治療部における診療、教育、研究、管理運営及び施設等に関する諸問題
- (2) 集中治療部相互間の協力援助
- (3) その他協議会の目的達成のため必要な事項

## 第2章 組織

(構成員)

第3条 協議会の会員は次のとおりとし、運営のため事務局と当番大学を置く。

- (1) 国公立大学病院集中治療部長及び副部長
- (2) 国公立大学病院集中治療部看護師長及び副看護師長

(事務局)

第4条 協議会の事務局を徳島大学病院救急集中治療部に置く。

2 実務は、別に定める細則第1条に定める業務について外注業者に委託する。

(当番大学)

第5条 当番大学は、毎年度持ち回り制とし、次々期の当番大学は、協議会において互選により決定する。当番大学は細則第2条に従って協議会を運営する。

## 第3章 会議

(協議会)

第6条 協議会は、原則として年1回以上開催するものとし、同時に集中治療部看護師長会を開催する。

(構成員以外の出席)

第7条 協議会は、必要に応じて文部科学省、厚生労働省その他関係者の出席を求めることができる。

(議事録の提出)

第8条 協議会の審議内容(議事録)は、各施設の病院長と文部科学省高等教育局医学教育課および厚生労働省保健局医療課に提出する。

(議長)

第9条 協議会の議長は、当番大学の集中治療部長が行うものとする。

(小委員会)

第10条 協議会は、第2条に掲げる目的を達成するため、必要に応じて本会の構成員等による小委員会を設置することができる。

(規約の改正)

第11条 本規約の改正は、協議会における出席大学数の過半数の賛成をもって行う。

## 第4章 その他

(事業年)

第12条 本会の事業年は、毎年1月1日から12月31日までとし、事務局は細則第3条に定める年会費を徴収する。

(他大学の参加)

第13条 自治医科大学、産業医科大学、防衛医科大学校の3校は国公立大学と同様の機能を有する大学として、議決権を持って正式に本協議会に参加する。

(複数の集中治療部を有する場合)

第14条 複数の集中治療部を有する大学の場合、いずれの集中治療部長及び副部長も協議会に出席できる。ただし議決権は各大学1票とする。

附 則

本規約は、平成28年1月29日から施行する。

# 国公立大学病院集中治療部協議会細則

## (事務局の業務)

第1条 事務局は当分の間、株式会社クレシーに以下の業務を委託する。

- (1) 国公立大学病院集中治療部長及び副部長の名簿管理
- (2) 国公立大学病院集中治療部看護師長及び副看護師長の名簿管理
- (3) 国公立大学病院の関係事務担当の名簿管理
- (4) 上記におけるメーリングリストの管理
- (5) 協議会関係（開催概要、資料保存）ウェブサイトの管理

## (当番大学の業務)

第2条 当番大学は協議会を開催し、そのための会場の確保、資料の収集、調査、研究、議事録作成及び各大学事務担当との連絡の任に当たる。名簿の更新等については事務局と連携をはかる。

## (年会費)

第3条 事務局は各大学から年2万円の会費を徴収し、事務局業務費用にあてる。ただし当番大学における業務費用については補填しない。

## 附 則

本細則は、平成28年1月29日から施行する。

(MEMO)